

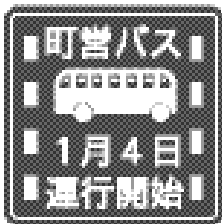
町営バスを運行します



●平成18年1月4日
出発進行！

まちでは、今までの日ノ丸自動車(株)による路線バスの運行に代わり、平成18年1月4日から町営バスを運行することになりました。これにより、町民の皆さんにより使いやすく、低料金の生活交通手段が提供できるようになります。

わたしたちの新しい交通手段となる町営バス。その概要をお知らせします。



利用者の減少を受け
平成8年過疎バス運行開始

現在路線バスの運行を行っている日ノ丸自動車(株)は、平成8年3月、バス利用者の減少などに伴い、米子線以外のバス路線から撤退しました。

これを受け、まちでは同年4月から、バス営業の赤字分を補助するという条件のもと、引き続き2台のバス運行(過疎バス)を日ノ丸自動車に委託し、町民の皆さんの生活交通を確保してきました。しかし、自家用車の普及に伴って過疎バス利用者も年々減少し、補助金の額は増える一方です。サービス向上、経費削減のため町営バス運行を決定

このような状況にあつて、より安価な交通手段の提供と運行経費の削減を図るため、日ノ丸自動車への委託を取りやめ、来年1月から町営バスを運行することにしました。町営バスは、道路運送法第80条により国土交通大臣の許

可を得て自家用バスを運行するもので、まちでは運行に必要なバスを3台(中型1台、マイクロ2台)購入します。購入費については、国からの宝くじ助成金で全額賄えることになっていきます。

菅福、奥渡、板井原・真住
3つのバス路線

町営バスの路線については、現在の4路線(生山線、奥渡線、板井原線、真住線)を見直し、次の3路線としました。

菅福線(現在の生山線)
根雨駅前と生山駅前の間を往復します。下菅から黒坂駅に入り、折り返します。

奥渡線

現在の路線を別所まで延長します。また、小川尻から下榎橋を通り、下榎、安原の集落内からひのっこ保育所前、日野病院、根雨小学校から根雨駅に至ります。

板井原・真住線

現在の板井原線、真住線を統合し、根雨駅との間を

折り返します。真住地区では、現在の路線を三粟まで延長します。

当面はこの3路線で運行しますが、より便利になるよう順次見直しを図ります。

運行管理は民間に委託

乗車料金は1回200円

町営バスの運行管理は、日本交通(株)に委託します。

また、3路線のうち菅福線には中型バスを走らせ、運転業務は主に町職員が行います。奥渡線と板井原・真住線の運転業務は日本交通の運転手が行います。

運行は、各路線とも朝、昼、午後、夕方の4便とします。

また、運休日は、1月1日から1月3日、日曜日および祝日、第1・第3・第5土曜日とします。

乗車料金は、区間に関係なく乗車1回につき中学生以上200円(小学生以下100円)とし、回数券と定期券も発行します。小中学生の通学については、現在と同じ制度

で助成します。

バスのデザインは

子どもたちの手で

新しいバスのデザインは、町内の小学3年生から6年生の子供たちに公募しました。たくさんの方のアイデアが寄せられ、現在どのアイデアを採用するか検討を重ねている途中です。来年からどんなバスが走るのかご期待ください。

町営バスは、町民の皆さんの生活交通の重要な手段として、皆さんからのご意見をもとに見直しを重ね、より良いサービスが提供できるよう、工夫しながら進めていきます。ぜひご利用ください。運行ダイヤなど詳しい内容は決定しだいお知らせします。

お問合せ
役場総務企画課

(電話)72 0331